

# 青森県デジタル人財育成方針 概要

## 本方針が示す主なもの

◆基本計画が掲げる「AX～青森大変革～」を支えるデジタル人財の育成・確保に向け、青森県職員のデジタル人財の育成に係る基本的な考え方と施策の方向性を定めるもの（総務省「人材育成・確保基本方針策定指針」（R5.12月）も踏まえた内容）

- ・「全職員」のデジタルに関する基礎知識の底上げを図る
- ・DX推進の中核を担う人財を「DX推進員」と定義し計画的・集中的に育成する
- ・それぞれ必要となる知識の習得と能力向上に向けた研修を行う

## 1 基本方針

### ◆基本方針1

デジタル技術を活用した行政サービスや業務効率化が推進されるよう「全職員のデジタルに関する基礎知識の底上げ」を図る。

### ◆基本方針2

デジタル技術を積極的に活用した行政サービスの向上や業務改善・業務改革など、DX推進の中核を担う「DX推進員」を計画的・集中的に育成する。

## 2 人物像・能力

### (1)全職員

#### ◆人物像・主な役割

- ・DX推進の理念を理解する、デジタルを業務や行政サービスの提供に活用する
- ・上記に加えて、DXに関する業務を管理・推進する（管理職）

#### ◆必要な知識・能力

- ・DX推進への前向きな姿勢、デジタルを効果的に利用するための知識と実行力
- ・上記に加えて、DXに関する業務を広い視点で意思決定し推進していくマネジメント力（管理職）

#### ◆研修方法

- ・基本研修などの機会を捉えて実施（e-ラーニングなど）

## 2 人物像・能力

### (2)DX推進員

#### ◆対象職員

- ①推薦枠：各所属1名（毎年度新規）
- ②自薦枠：意欲ある希望者（新規、複数年度での育成）

#### ◆人物像・主な役割

- ・DX推進に向けた「業務効率化」「行政サービスの向上」「働き方改革」を推進する
- ・新しい取組を主体的に実践し周囲をサポートできる

#### ◆必要な知識・能力

- ・新たな業務改革等に率先して取り組み、実現させるための強い意思と実行力
- ・多様で新しい働き方や業務改革に関する知識

#### ◆研修方法

- ・e-ラーニング、ハンズオンなど

## 3 育成計画

DX推進員区分	デジタル人財育成ステージ	手法	育成年数	R6	R7	R8	R9	R10	累計
意欲ある職員	⑤AI等活用	e-ラーニング・ハンズオン 集合研修	5年						
	④データ利活用		4年						
	③業務改革		3年						
	②業務改善		2年						
各所属1名ほか	①業務効率化		1年	200	200	200	200	200	1,000

方針2

DX推進員の育成

5年間で1,000名以上を育成

変革意欲の高い職員には、2年目以降も育成年数や目指すキャリアプラン等に応じたカリキュラム

業務効率化を中心としたカリキュラム

方針1

全職員の基礎知識の底上げ

全職員

